



## “リビング篇”

家族揃って過ごすリビングでは、汚れやホコリが目につく床や家具類の上部だけでなく、見えない下の部分まで掃除をしている方が多いようです。また、窓、エアコン、カーテン、壁に関しては、年代によって掃除頻度に差があり、上の世代ほど掃除をする割合が高くなっています。

### Q1 おそうじにかかる時間は？

#### 年代が上がるにつれ、掃除時間も長くなる！

全体ではキッチンに次いで、平均の掃除時間が長くなっています。“15分未満”の回答は、20代の4割強から30代～40代の3割、50代～60代の2割と、**年代が低いほど掃除にかかる時間が短い傾向**にあります。



### Q2 普段おそうじをする場所は？

#### 上の年代ほど室内の細かいところまで！

ほとんどの方が「床」掃除をあげ、最多となりました。「窓」「エアコン」「カーテン」「照明」などの**設備や調度品は、上の年代ほど掃除をする割合が高くなっています。**



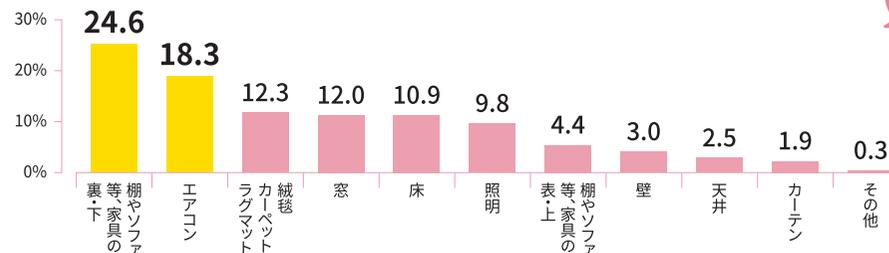
### Q3 使用する洗剤・道具の数は？

#### 専用の洗剤や道具の使用率は年代別に大きな差が！

「住居用」「ガラス用」など専用の洗剤、「雑巾」「モップ」といった**道具類は年代が上がるにつれ使用率も高くなっています。**特に「雑巾」は、60代では7割を超える高い数字に。



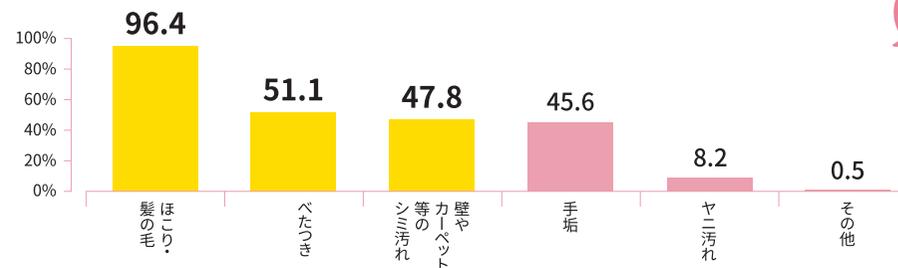
### Q4 苦手なおそうじ場所は？



#### 年代によって苦手意識が違う！

4人に一人があげた「棚やソファ等、家具の裏・下」がトップになりましたが、30代では2割弱、50代が1割強と、回答数でのバラツキがみられました。また、2位の「エアコン」、4位の「窓」では、50代だけが2割近くとなり、全世代の中でも突出した数字となっていることから、**掃除をしにくいと感じる場所は、それぞれの年代によって違いがある**ようです。

### Q5 おそうじの際に気になる汚れは？



#### ほこりや髪の毛、床まわりの汚れが最も気になる！

全世代を通じて、9割強の回答を集めたのが「ほこり・髪の毛」となっており、ほとんどの方が普段「床」を掃除している結果ともつながっています。「べたつき」や「シミ汚れ」「手垢」と回答した人の割合がそれぞれ、5割前後と1位と差が開いているのも特徴的です。掃除頻度別でみると、“週に1～2日”の層は、いずれの汚れに対しても、他の層より気にする割合が低くなっています。